地域と医療で咲くコミュニケーション

あまが咲だより

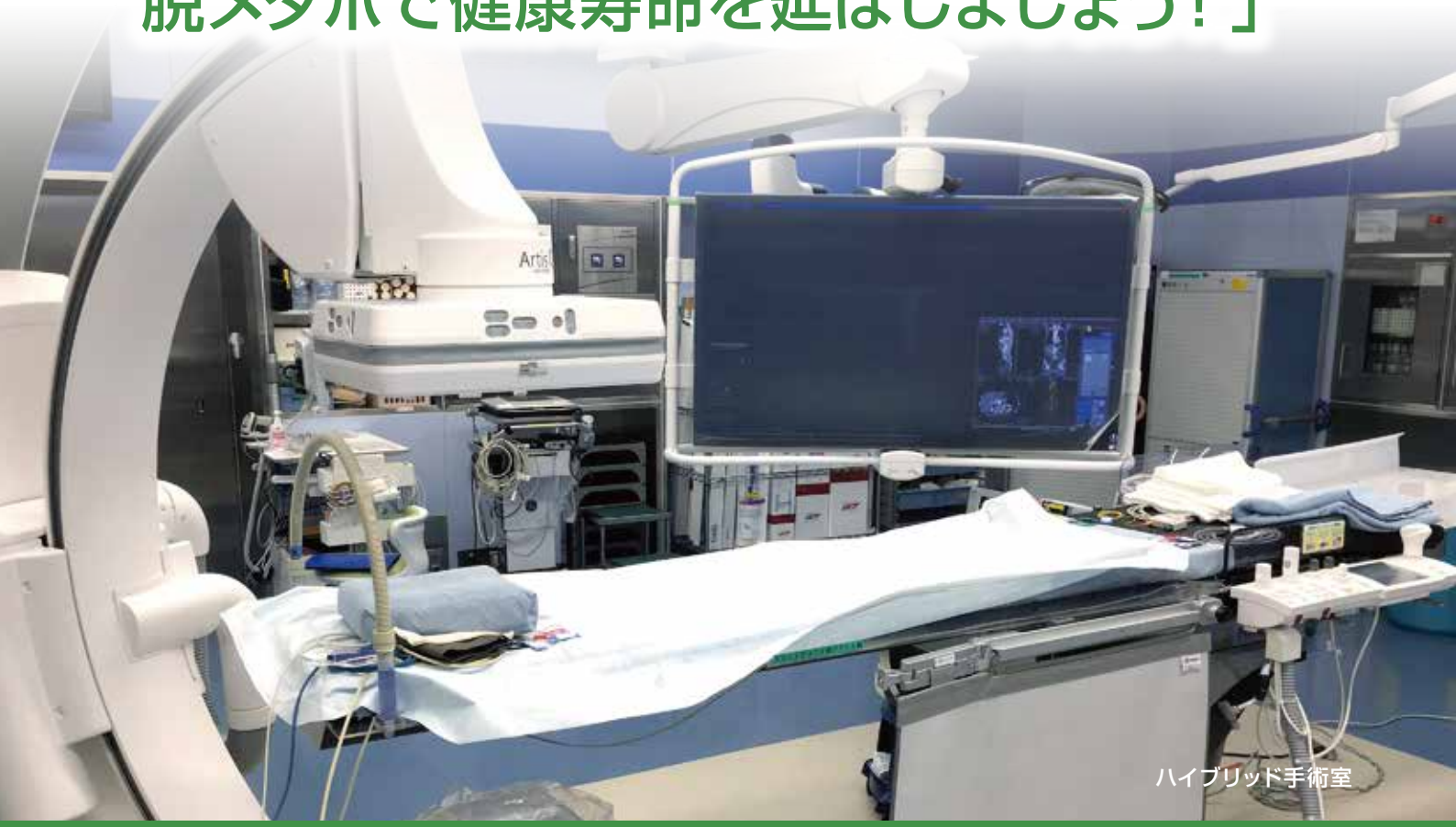
2018
11月
No.54

兵庫県立尼崎総合医療センター
Amagasaki General Medical Center (AGMC)

[院内専門センターのご案内]

生活習慣病センター

「変わりたい気持ちをサポートします。脱メタボで健康寿命を延ばしましょう！」



ハイブリッド手術室

[AGMC委員会・部会めぐり] 病床管理委員会

● [AGMCニュース] 栄養管理部新たな試み ～体験型糖尿病料理教室を開催しています～

●セミナーのご案内　●スタッフのつぶやき　●ぶらり～っと病院探訪

生活習慣病センター

院内専門センターのご案内

複数の診療科・部門を一つにまとめ、診療機能を統合させた当院の《センター》をご紹介します。

変わりたい気持ちをサポートします。脱メタボで健康寿命を延ばしましょう！

生活習慣病センターの特徴

生活習慣病センターでは耐糖能異常、高血圧、脂質異常症、肥満症など生活習慣に関連する疾患の診断、治療、予防を行います。患者さん個々の生活習慣を見直し、適切な食事療法、運動療法、禁煙指導等を行うことにより、動脈硬化による血管疾患や、がんの発症を防ぐことを目的としています。

糖尿病・内分泌センター長
兼 生活習慣病センター長

中村 嘉夫

- 京都大学医学博士
- 京都大学糖尿病・内分泌・栄養内科　臨床教授・非常勤講師
- 日本糖尿病学会　専門医・指導医・学術評議員
- 日本内分泌学会　専門医・指導医・評議員
- 日本内科学会認定医・指導医

後列左から：楠瀬栄養士、吉積栄養士、恒吉看護師、並川栄養士、西垣看護師
前列左から：原田医師、中村医師、嶋田医師

組織構成

糖尿病・内分泌内科、循環器内科、腎臓内科、呼吸器内科、消化器内科
皮膚科、歯科口腔外科、看護部、管理栄養部、薬剤部、検査部
リハビリテーション科

診療内容

生活習慣病センターでは糖尿病・内分泌内科、循環器内科、腎臓内科、呼吸器内科等生活習慣病に関連する診療科が共同して外来診療を行っています。生活習慣が大きく関わる耐糖能異常、脂質異常症、肥満症などの治療を対象とする「生活習慣病外来」や、喫煙による健康被害を縮小させることを目標とした「禁煙外来」を開設しております。肥満症は体重を3～5%減量することにより、肥満に伴う合併症、健康障害を改善することが期待されます。このためには食事療法、運動療法が非常に重要になりますので、医師の診療に加えて看護師による療養生活指導や栄養士による食事指導に力を入れて実施しております。

患者さんや地域医療機関へのメッセージ

本能である食欲や、嗜好品を欲する欲求に抗う治療は本当に難しいと思います。
一人では難しくても、周りのサポートを取り入れることで状況を打開できる可能性があります。
お気軽にご相談ください。

AGMC 尼崎総合医療センター
Amagasaki General Medical Center

委員会・部会めぐり

－豊かな医療を育むための協議－

適切な運営および安全な医療提供を行うために、
多職種で運営されている院内委員会・部会です。

病床管理委員会委員長（副院長兼看護部長）
箕浦 洋子

病床管理委員会

～患者さんのスムーズな入院・退院を目指して～

委員会の紹介・特徴

病床管理委員会では、院長、副院長をはじめ、ほぼ全診療科・部署の代表者が集まり、院内の病床（ベッド）の適正利用に向けた検討を行っています。

月ごとに病床の稼働推移や有料個室の入室状況などについて、事務局（経営企画課）からのみならず、実際に入退院調整を行う看護師から報告することにより、現場の生の意見も交え、活発な議論がなされています。

《構成メンバー》

- 委員長1名（箕浦副院長兼看護部長）
- 副委員長1名（佐藤診療部長）
- 院長及び副院長、院長補佐 計7名
- 診療科部長又は医長 計19名
- 看護部参事及び次長、師長 計10名
- 管理局長ほか事務部門 計7名
- 医事委託業者フロントマネージャー1名

委員会風景（毎月開催）

活動内容

平成27年の開院以降、入院患者は増加傾向にあります。非常に有難いことですが、その分病床の空きが少なくなり、緻密なベッドコントロールが必要になってきます。そこで、本委員会において季節や流行病などによる患者さんの増減に対し、対策を練り、病床運営の基本方針を決定しております。具体的には、夏休み時期に小児患者が増加するため、小児病棟以外での受入を想定し、担当医師や看護師への周知を徹底するなどです。

事務局による例月報告の様子

入院調整担当看護師から最新の状況報告

患者さんや地域医療機関へのメッセージ

病院を取りまく環境が日々めまぐるしく変化していく中、当院ではその時・その状況に応じた適切な病床管理を行い、患者さんにスムーズな入院、退院をしていただけるように努めてまいります。これまで同様、地域医療機関の方々の協力を賜りますようお願いいたします。

AGMC ニュース

栄養管理部新たな試み
～体験型糖尿病料理教室を開催しています～

旧塚口病院では糖尿病の患者会活動が活発で、その一環として糖尿病料理教室を継続的に開催していました。しかし調理するには院外の施設を利用するしかなく、その度患者さんにはご足労をおかけしていたため、新病院では是非、院内で料理教室に参加していただきたいとの要望で栄養指導室兼料理教室が設置されました。院内での料理教室開催までに少々時間がかかりましたが、今年度はテーマを決め、3回開催していますので紹介します。

第1回目は9月21日に開催しました。テーマは「食欲の秋～秋の味覚を美味しく、バランスよく～」で、8名の方にご参加いただきました。以前より定例で開催しているランチ教室は実際の病院の治療食を「食べて学ぶ」ことが中心ですが、今回の料理教室では、「病院の調理師が作っているのを見ながら直接調理のポイントを聞き、一部調理にも参加する」など体験型の料理教室として企画しました。

患者さんからは、メニューに関する質問のほか、「今日のレシピで塩分を2gに押さえるにはどうしたらいいか？」や「糖尿病の人でも食べられるスィーツには、他にどんなものがあるか？」など質問も多く、アンケートからは「今日のメニューは参考になった」や「薄味でしたが美味しかった」などご意見をいただき、楽しい教室が開催できました。

次回は、12月21日金曜日に開催します。テーマは「年末年始の食べ過ぎを防ぐ！～お正月の食材を使った簡単レシピ～」です。おせち料理で使う食材をアレンジして、いつもと違う食べ方を提案できればと現在企画の真っ最中です。

3回目は3月にお花見弁当をテーマとして開催する予定ですので、糖尿病の患者さんでご興味のある方は、是非、ご参加いただきたいと思います。

★体験型糖尿病料理教室★

テーマ　「年末年始の食べ過ぎを防ぐ！お正月の食材を使った簡単レシピ」実際に作って味わう体験型の料理教室です。

日時　12月21日(金) 11:30 ～ 13:00

場所　栄養指導室1・2（※2階外来24 小児科と眼科の間）

予約方法　医師、看護師、管理栄養士等お近くのスタッフにお声掛けください。

調理師と管理栄養士による調理と講義を交えた教室です。この教室では、食事料700円（自費）をいただきます。別途、集団栄養食事指導料（保険適用）が必要です。ご家族の方も参加可能です。

兵庫県立尼崎総合医療センター　栄養管理部

セミナーのご案内

第72回 市民すこやかセミナー

テーマ 『頻尿と尿失禁』

【講　師】県立尼崎総合医療センター　●泌尿器科 医師 村蒔 基次

【日　時】平成30年12月4日（火曜日）　午後2時～3時30分（開場1時30分～）

【場　所】県立尼崎総合医療センター 講堂（1階）**定員：120名（参加費無料・予約不要）**

★お問い合わせ：県立尼崎総合医療センター　地域医療連携センター ☎ 06-6480-7000（代表）

スタッフのつぶやき

24時間365日医療情報システムを支えます

情報管理部 一同

当院には「情報管理部」という、主に電子カルテ関連の機器やシステムの運用・管理を担う部署があります。電子カルテ用関連機器は3,000台以上あり、毎日のように発生する故障・不具合の対応に追われています。故障・不具合の「報告書」を受け取ったら、サービスデスクが実機を確認。再設定や調整で復旧しない場合は診療に影響がないよう、代替機の手配やメーカーへ修理の見積を依頼し、受領されたら経理課の決済を待ちます。決裁が下りたらメーカーへ修理を依頼。メーカーの修理担当者が来院して修理し、修理完了後は正常に稼働するかどうか検証します。後日、届いた請求書の修理内容と費用をチェック。経理課へ報告して完了です。このように、見積書受領～決裁完了～修理～請求書のやりとりなど、機器1台の修理対応が完了するまでには、最短でも1か月はかかるのです。故障の修理対応はとても大変ですが、情報管理部のメンバーは毎日明るく楽しく過ごしています。

ぶらり～っと病院探訪

DMAT室

DMATって知ってますか？テレビニュース等でご存知の方もあるかと思いますが、Disaster Medical Assistance Teamの略で、災害派遣医療チームの略号です。当院では医師、看護師、業務調整員合わせて17名の職員が日本DMAT隊員として登録されています。その拠点となる、DMAT室にお邪魔をしてきました。

Q. いつもはDMAT室で何をしているのですか？

A. 災害の超急性期から医療を提供する医療チームであることから、常に各種災害を想定したミーティング、資材等をチェックしています。通常時は年間500件程度出動するドクターカーの管理運用を行っています。

Q. 誰の指示で、出動するのですか？

A. 都道府県知事の要請に基づき、兵庫県災害医療センターを通して要請がかかり、救命救急センター長が院長に報告し派遣を決定します。

Q. 24時間いつでも対応できるように日頃から心がけていることは何ですか？

A. 自己体調管理、資器材チェック及び各種訓練等へ参加し、何時でも対処出来るようにしています。平成30年7月豪雨災害派遣（岡山県）は朝4時に出発しています。

Q. 活動地域は国内だけですか？

A. 原則国内のみです。

DMAT実績

❶熊本地震派遣（2016.4）
❷平成30年7月岡山豪雨派遣（2018.7）
❸大阪府北部地震待機命令（2018.6）
❹北海道胆振頭部地震待機命令（2018.9）

今月の表紙写真

ハイブリッド手術室のご紹介

ハイブリッド手術室とは、エックス線透過撮影装置を備えた手術室で、外科手術と血管内のカテーテル治療を同時に行うことができます。

本院のハイブリッド手術室は、十分な広さと最新の先端機器を備え、循環器科、心臓血管外科での大動脈弁狭窄症に対するカテーテル治療TAVI、大動脈瘤に対するステントグラフト（EVAR、TEVAR）、脳神経外科でのバイパス手術などに活用しております。

編集後記

地震におどろき、台風に身構え、暑さに辟易した夏がようやく過ぎたと思ったら、急に涼しくなりました。皆さま体調はいかがですか？金木犀の香りが漂うこのごろ。コンサートや演劇、美術展など、いろんな催しが増えてきますね。先日、久しぶりにミュージカルを観に出かけました。日常を忘れるひとときが過ごせましたよ。かえりの電車は自宅最寄り駅の一つ前で降りて歩いて帰りました。少し汗をかく程度の良い運動になりました。気候の良い時期、こころもからだもリフレッシュして、冬に備えましょう！　（Y.W.）

兵庫県立尼崎総合医療センター
Hyogo Prefectural Amagasaki General Medical Center (Hyogo AGMC)
〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町二丁目17番77号　TEL 06-6480-7000（病院代表）　FAX 06-6480-7001
URL：http://agmc.hyogo.jp/
兵庫県立尼崎総合医療センター　検索

発行　兵庫県立尼崎総合医療センター　企画協力・デザイン・印刷　兵田印刷工芸株式会社